

## 令和6年度 認定こども園仁賀保評価委員会 会議録

1, 日時 令和7年2月10日(月) 10:00~11:15

2, 会場 当園ひまわり組保育室

3, 会次第

- (1) 挨拶、園内一巡、自己紹介
- (2) 令和6年度保護者アンケート、職員自己評価の結果について
- (3) その他
- (4) 質疑応答、指導助言

4, 出席者

巴 真喜子(琴浦)	由利 栄美(琴浦自治会副会長)
鈴木 杏奈(PTA会長)	佐々木 貴成(PTA副会長)
柴田 こずえ(園長)	大高 志津子(副園長)

5, 会議内容

園長より～資料に沿って6年度の振り返り、保護者アンケート、職員自己評価の結果についての説明～

- 給食参観日を3回に分けたので、参観日の回数については来年度へ向けて職員とも相談しながら検討していく。
- 保護者からはおおむね良い評価をいただいたが、中にはマイナスな評価もあったので、今後の課題にしていく。引き続き保護者への丁寧なかかわりで子どもの成長を共有していく。
- 地域と繋がる何かしらのきっかけを探っているが、難しい。
- あかるくなかよくがんばるこども…当園の目指す子ども像として位置付けている。
- 職員それぞれの抱える不安やストレスをしっかりと受け止め、前向きに保育を頑張ることができるようきめ細かくケアしていく。
- アレルギー児対応マニュアルを整備し、緊急時の訓練を実施したい。
- 保護者アンケート、自己評価等を総合的に判断し、最終的にA評価にした。(4段階中)

6, 質疑応答、指導助言

(鈴木)

- ・日頃より先生方から良くしていただき感謝している。参観日については、自分は2人の子をそれぞれ見ることができたので良かったが、今は共働きの家庭が多いので同日開催とどちらの良さもある。
- ・芋ほり遠足は、最近は土に触れる機会が少ないのでとても良いと思う。
- ・保護者アンケート結果が昨年より良かったのは先生方の努力があったと思う。それぞれの意見

を検討して行って欲しい。

・先生方のモヤモヤは子どもにも伝わってしまう。どんなに小さい子どもでも敏感に感じ取るので、相談にのってあげて欲しい。

(佐々木)

・アンケートの結果も良かったし、イベントも増えてきて子ども達も楽しく過ごしているようで良かった。今後とも保護者の意見を汲み取って行って欲しい。

・人口の減少で園児も減っていき難いと思うが、これからも楽しい園生活が送れるようにしていただきたい。

(由利)

・自分もピアノ講師をしているので分かるが、保護者とメールでやりとりするとどこか冷たく感じるが、電話してみると気持ちが伝わることが多い。文字だけでは伝わらないこともある。今後色々な方法で発信していくことが大切。

・防災士の資格も取得した。例えば防災クイズをしたり新聞紙スリッパを作ってみる等園でも機会があれば呼んで欲しい。炊き出しの場面では、衛生的でないことが多い。(素手でおにぎりを作る等)保護者や子どもも必要以上に過保護にしすぎないことは災害時を考えると重要だと考える。たくましく生きること。

・先生方が明るく保育ができるように、何かあっても気持ちを切り替えられるようにできるといいと思う。

(鈴木)

・例えば素手でのおにぎり作りを園でやりそれを発信してもらえると、親のハードルも下がるし、親子で楽しめそう。免疫力もつくのでは？食育にもつながる。

・自分で何か一つメンタルを保つための楽しみを持っているといい。

(巴)

・園目標に「たくましく」も付け加えてみてはどうか。たくましく…土、水、火等の自然とのふれ合いもあるし、これからの時代は最低限自分の命を守るためのたくましが求められる。コロナも明けてますます人とのつながりが大切になってきた。子どもも先生方も“自分が好きだから他者も好き”という意識で、たくましくなって欲しい。

(副園長)

・市の出生数が減ってきたが、移住してきたお子さんが1名入園予定。マーチングがかなり淋しくなってしまうが、当園の目玉なのでこれからも何とか続けていきたい。

・不適切保育が話題になり、ニュースで聞くようなことはないが、その言葉に敏感になってしまい保育に自信がなくなってしまうがち。先生方をしっかりフォローしていく。

・参観日を見ていると最近はお父さんの参加が増えてきた。ご夫婦での参加も。その分お母さん同士の横のつながりが薄れていないか気になる。今後も見えていく。